

模型走行車

実 願 昭 41-46764
出 願 日 昭 41. 5. 19
考 案 者 橋本健次郎
静岡県小島24光和荘内
出 願 人 田宮商事合資会社
静岡県小島915
代 表 者 田宮義雄
代 理 人 弁理士 橋山鋤一

図面の簡単な説明

第1図はボデーを破断し、一方の車輪を離脱した本案品の側面図、第2図は本案品の緩衝状態を示す説明図、第3図はボデーを取り外した本案品の平面図である。

考案の詳細な説明

本案はモーターと後車輪とをメインフレームへ浮動的に取付けて高速走行を可能にした模型走行車に係るもので、図中1はメインフレームで、前部両側にフロントサスペンション2、2を設けて之に前軸輪3、3の車輪4を支持させ、フロントサスペンション2、2の間にはボデーの前部取付部材6を設けると共に、後部両側に一組の軸受7、7とこの軸受7、7の上部から後方へ張り出させたばね受8、8とを設けてある。9はリヤフレームで、前方に結合片10、10を設けて之を枢軸11によりメインフレーム1の軸受7、7へ枢着し、前方両側にメインフレーム1のばね受け8、8に対応させてばね支え12、12を設けてばね受け8、8との間にコイルスプリング等の緩衝ばね13、13を挟んでメインフレーム1へ浮動的に取付けると共に、後端両側に車軸受14、14を設けて之に後車輪15、15の車軸16を支持させてある。17はモーターで、リヤフレーム9上に車軸16と平行させて取付け、且その伝動ピニオン18は車軸16に固定した受動ギ

ヤー19と噛み合せてある。20はボデーで、前部をメインフレーム1に於ける前部取付部材6に固定し、後端をばね受け8、8の後部に設けた後部取付部材21、21に取付けてメインフレーム1と一体化してある。

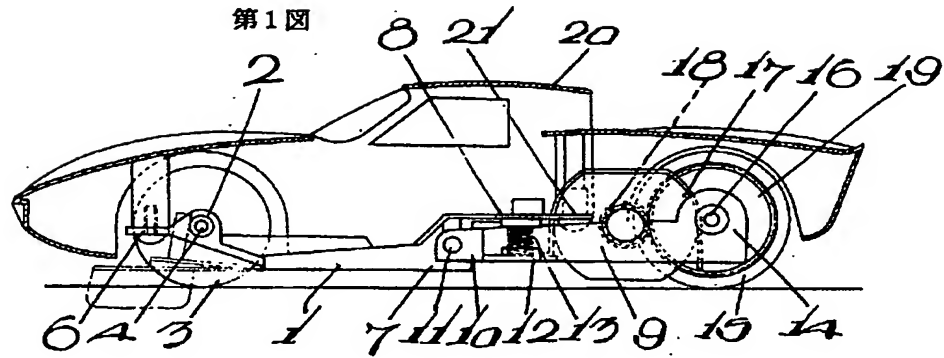
従来の模型走行車は車輪及びモーターをフレームへ直接取付けた為、モーターの運転音と振動とがフレームからボデーへ伝達されて之等の共鳴により大きな騒音となるばかりでなく、走行路に凹凸のあるときは車体はその影響を受けて動揺する為走行の安定性が悪く、加うるにこの種の走行車はカーブするときはその重心位置が変わらないので高速走行させるときは遠心力の作用により車体のバランスが崩れて顛覆する欠点があるからスピードを楽しむ模型走行車として実用的価値に乏しかった。

然るに本案品は上記の様にボデー20と前車輪3、3とを支持させたメインフレーム1の後部に枢軸11とばね13とにより浮動的にリヤフレーム9を取付け之に後車輪15とモーター17とを支持させたものであるからモーター17の運転音と振動とはばね13により吸収されてボデー5へ伝達されない為極めて静粛な走行が行われると共に、ばね13は走行路に凹凸があつて後車輪15を動揺させるときも之を吸収緩和してボデー5を動揺させないから、路面如何に拘らず常に安定した走行が行われるものである。又この走行車はカーブするとき遠心力の作用によりばね13が緊縮し、車体20の重心を下げて自動的にそのバランスを取るから高速走行させても顛覆することがないのでスピードを楽しむ模型走行車として極めて大きな実用的効果を発揮するものである。

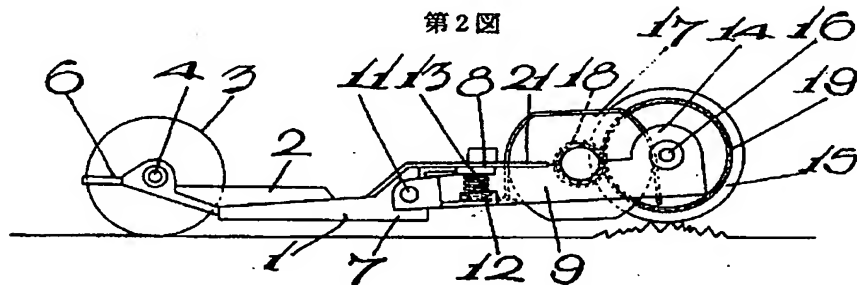
実用新案登録請求の範囲

図面に示す様に前車輪3を支持させたメインフレーム1の後部に枢軸11とばね13とにより浮動的にリヤフレーム9を取付け該フレーム9にモーター17と後車輪15とを支持させてなる模型走行車。

第1図



第2図



第3図

